

週間漁海況情報 2024年第8号

令和6年2月20日発行

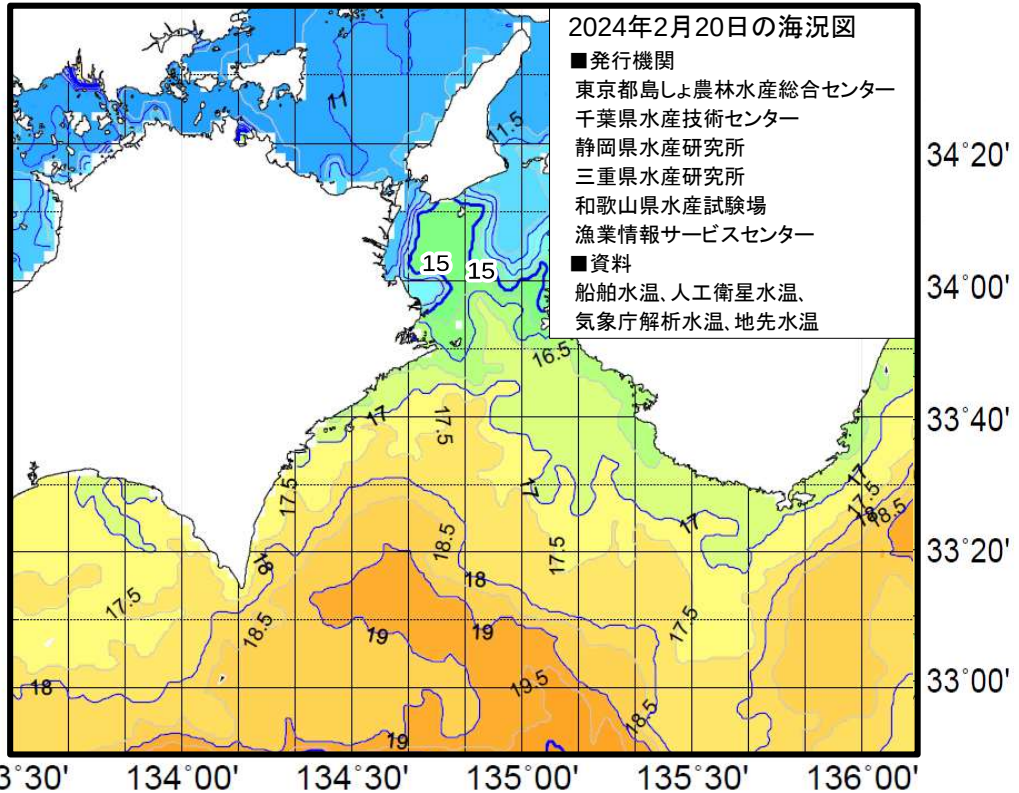
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖36マイル付近、潮岬沖93マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。紀伊水道中央部への暖水波及が見られる。今後、九州南東にある黒潮の小蛇行の東への移動にともない、黒潮は室戸岬に近づくと予測されています。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は11℃、紀伊水道は11～16℃、海部沿岸は16～17℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸: ~25NM	やや離岸: 25~45NM	離岸: 45~65NM	著しく離岸: 65NM~
潮岬沖	接岸: ~26NM	やや離岸: 26~56NM	離岸: 56~86NM	著しく離岸: 86NM~

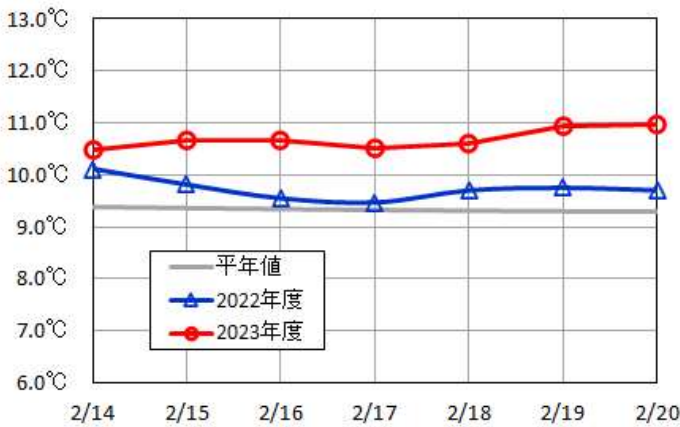
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

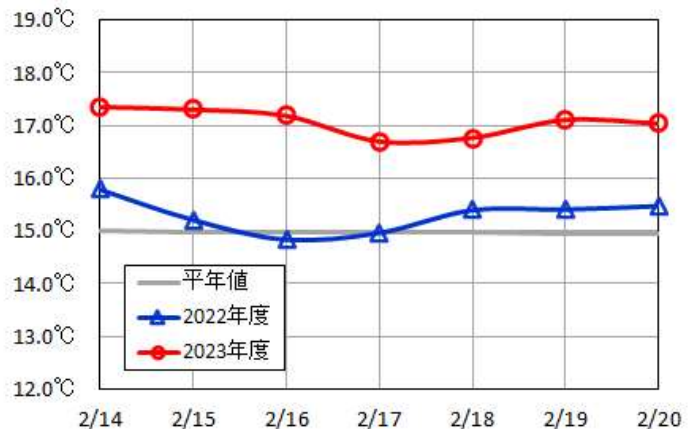
2. 地先水温(2月14日~2月20日)

鳴門地区の水温は、10.4~10.9℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、16.6~17.3℃で「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は6.0~6.8℃で、先週と比べて狭まった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月21日~2月27日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「接岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「高め」で推移する見込み。

漁況 (2月12日～2月18日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

建網では、メジナが増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆アジ主体に1.3ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.5ト、ヒラメが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に2.5ト、シリヤケイカが大きく増えて0.9ト、えそ類が大きく増えて0.4ト、ヒラメが大きく増えて0.4ト、ハモが大きく増えて中主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

延縄では、ブリが大きく増えて0.8ト水揚げされた。

大型定置網では、マルアジが大きく増えて小小主体に1.5ト、メジナが大きく増えて1.2ト、マアジが大きく増えて小アジ主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が 0.25トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	建網	39	メジナ	397	10		↗
	小型定置網	21	マアジ	1,292	62	豆アジ主体	→
		15	ブリ	497	33	めじろ級主体	↗↗
		22	ヒラメ	281	13		↗↗
	底びき網	38	コウイカ	2,524	66	大主体	↗↗
		21	シリヤケイカ	878	42		↗↗
		38	えそ類	435	11		↗↗
		36	ヒラメ	383	11		↗↗
		31	ハモ	292	9	中主体	↗↗
	海部沿岸	釣り	11	タチウオ	743	68	
延縄		3	ブリ	787	262		↗↗
大型定置網		6	マルアジ	1,465	244	小小主体	↗↗
		6	メジナ	1,194	199		↗↗
		6	マアジ	459	77	小アジ主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘